

大正十年九月二十日起案  
起案者 捺印

十月七日發付  
捺印

發付後起  
案者捺印

起案郵紙甲

提案

艦政本部長

總務部長

大臣 岡

次官

參事官

副官

第三部長

第二課長

第一課長

第四部長

平賀部員

經理局長

軍務局長

第一課

第二課

軍令	水路	臨建	教育	造兵	技本	法務	理	務	機關	人事	軍務	官房	局部
												十月七日	受月日
													發月日

大正十年七月七日

大臣

橫鎮司令官

巡洋艦天城製造費豫算減額件

大正八年九月官房機要第一四七二號訓令案

號番

第一五五號

毎

匣

本局 10.10. 受接

0851

手、城製造其、豫算、別紙、用改、  
別紙、

(別紙 巻葉添付)

(行)

一五五之

大正十年十月七日

大臣

吳鎮司令長官

巡洋艦、海城製造費、豫算、減額、件

大正九年十一月、海城製造費、豫算、第一六三、第二、訓、  
令、軍艦、海城製造費、豫算、別紙、用改、  
別紙、

(別紙 巻葉添付)

(行)

(報文社印)

0852

備考

別紙第五部長、監倉之基キ工廠之於テ製造豫定  
ノ主機械用減速装置各半隻分宛ト半隻トウエス  
テエグハウズトテヨリ購入ノコトニ変更ニ伴ヒ兩艘機関  
費減令豫算額ヨリ各四九〇、〇〇〇円ヲ減額ス

(機心家)

0853

横

支出科目	工事名稱	豫算				
		大正八年	九年	十年	十一年	十二年
電機補修費	巡洋艦壹隻製造	一、五四〇、四〇〇	七、五六一、六〇〇	八、八四二、四〇〇	七、六二四、〇〇〇	三、七七九、二九〇
電機製造費		〇	〇	四九〇、〇〇〇	〇	〇
造船費		〇	〇	〇	〇	〇
第四號裝甲巡洋艦		〇	〇	〇	〇	〇
前訓令額		二八、七八六、〇九〇	一、五四〇、四〇〇	七、五六一、六〇〇	八、八四二、四〇〇	七、六二四、〇〇〇
減額		四九〇、〇〇〇	〇	〇	〇	〇
改訂額		二八、二九六、〇九〇	一、五四〇、四〇〇	七、五六一、六〇〇	八、三三三、四〇〇	七、〇六二、四〇〇
船体費		一五、七五八、〇九〇	九〇〇、〇〇〇	五、〇〇〇、〇〇〇	五、〇〇〇、〇〇〇	三、〇〇〇、〇〇〇
機関費		一三、三三八、〇〇〇	六四〇、四〇〇	二、五六一、六〇〇	三、三三三、四〇〇	三、八四三、四〇〇
備品費		二二〇、〇〇〇	〇	〇	〇	〇
備考本豫算額中三附屬費ヲ含ム		〇	〇	〇	〇	〇

海軍

計表

0854

252

豫算書

工事名稱 巡洋戰艦壹隻製造

支出科目 軍備費 第五號裝甲巡洋艦

前訓令額	減額	改訂額	船體費	機関費	甲鐵費	備品費	支				
							全八年度	全九年度	全十年度	全十一年度	全十二年度
36,814.90	49,000.00	35,591.49	15,758.90	23,338.00	7,295.40	22,000.00	1,549,400.00	2,366,600.00	2,352,400.00	7,557,800.00	3,779,900.00
0	0	0	9,000.00	64,400.00	7,295.40	0	0	0	0	0	0
0	0	0	5,000.00	25,660.00	3,800.00	0	0	0	0	0	0
0	0	0	5,000.00	3,350.00	3,000.00	0	0	0	0	0	0
0	0	0	3,000.00	3,840.00	4,950.00	22,000.00	0	0	0	0	0
0	0	0	2,858.90	1,921.20	0	0	0	0	0	0	0

備考 本豫算額中三六附屬費ヲ含ム

海軍

0855

可  
北  
支  
友  
三  
郎  
殿

巡戰第九號 大正十年十月六日

神戶監在  
首席監督

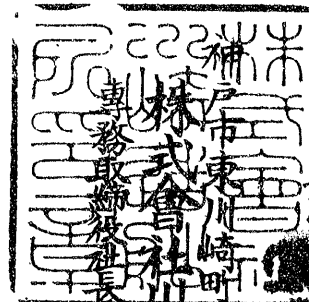
海軍大臣 男 藤友三郎殿



第一課  
第二課



軍艦愛宕工事豫定概括表一部變更御承認願ノ件



神戶市東川崎町貳丁目拾四番地  
株式會社川崎造船所  
專務取締役社長 松方幸次郎

株式會社川崎造船所用箋



別未

艦政本部



曩ニ拜提仕候軍艦愛宕工事豫定概括表ハ客月一日附官房機密第一三四  
二號ノ二ヲ以テ御認許相蒙リ候處本艦起工ハ軍艦加賀進水後同一船台  
ヲ使用シ大正十年十月廿九日起工ノ豫定ニ有之候然ルニ一般弊社職工  
罷業事件勃發ノ爲軍艦加賀ノ進水期日ニ變更ヲ來タシ從テ本艦起工期  
延ノ止ムナキニ至リ候ニ付來ル十一月廿二日起工ノコトニ變更  
致度ト存シ候間右事情幾重ニモ御諒察ノ上特ニ御承認被成下度此段奉  
願上候也

追テ本文概括表ハ起工期日ヲ除キ他ニ變化無之候間左様御承知被成  
下度此段爲念申添候也

0856



軍務局



第一課  
第二課



愛宕川崎造船所ニテ本日(十一月二十二日)起工セリ。

(了)

電報譯

受信者 艦政本部長

發信者

(在神戸) 田中監督官

大正十年十一月二十二日

日

午前八時四十五分  
午後九時二十分

海軍省著

神戸局發



海軍

(續紙小)

0857

アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp/>

起案部紙

大正十年七月

日起案

起案者

除印

九月廿二日發付

發付掛

發付後起

案者泰事

(提案) 總政次部長

副官

第四部長

第五部長

清部員

官房

局、部、受月日發月日

大臣

副官

總務部長

第三課長

第一課長

軍務

人普部

次官

參事官

第二課長

第一課長

艦政

機關

醫

監行局長

第一課

第二課

長本

法務

造兵

經理局長

第一課

第二課

造兵

造船係

軍令	水路	臨建	教育	造兵	長本	法務	經理	醫	機關	艦政	人普部	軍務	官房	局、部、受月日發月日
				造船係										

大正十年十月廿四日

者副官

軍艦愛宕工事豫定概括表変更ノ件

川崎造船所社長宛 監督官經田

三〇二

直

10.11.10

0858  
0859

本艦 10.11.10 受接  
本艦 10.11.10 受接



大正十年十月廿一日起案

起案者 捺印

十月廿一日發付

發付者 捺印

發付後起案者 捺印

(提審) 總政部長

副官 岡田

第四部長  
第五部長

清部員

局部 受月日 發月日  
官房 廿四日  
軍務

關報

大臣

井出

副官

井出

本艦 10.11.1

本艦 10.11.1

本艦 10.11.10 受接

本艦 10.11.10 受接

捺印

捺印

番號

軍艦愛宕工事豫定概括表変更1件

川崎造船社長宛

副官

經理局 10.11.14 受

三三二也

0858  
0859



客月六日付巡戦第九聯より願出ノ軍艦受  
宕起エラ十一月二十二日ニ変更ノ件認許相成候  
右通知ス

( )

0861



艦政本部  
第...長

巡戰第九號 大正十年十月六日

海軍大臣 男爵加藤友三郎殿

神戸市東川崎町貳丁目拾四番地  
株式會社川崎造船所  
專務取締役社長松方幸次郎

株式會社川崎造船所用箋

軍艦愛宕工事豫定概括表一部變更御承認願ノ件

長ニ拜提仕候軍艦愛宕工事豫定概括表ハ客月一日附官房機密第一三四  
長ニ號ノ二ヲ以テ御認許相蒙リ候處本艦起工ハ軍艦加賀進水後同一船台  
ヲ使用シ大正十年十月廿九日起工ノ豫定ニ有之候然ルニ過般弊社職工  
三罷業事件勃發ノ爲軍艦加賀ノ進水期日ニ變更ヲ來タシ從テ本艦起工期  
一課長願延ノ止ムナキニ至リ候ニ付來ル十一月廿二日起工ノコトニ變更  
致度存シ候間右事情幾重ニ御諒察ノ上特ニ御承認被成下度此段奉  
願上候也

追テ本文概括表ハ起工期日ヲ除キ他ニ變化無之候間左様御承知被成  
下度此段爲念申添候也

二〇二〇

0862

艦政本部長



第四部長

第一部長

總務部長

巡戰第九號 三大正十年十月六日

神戸駐在

首席監督官

第二課長

第一課長

海軍艦政本部

田啓介殿

未定



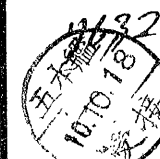
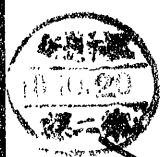
松方幸次郎

造船所

軍艦愛宕工事豫定概括表變更ノ件

軍艦愛宕工事豫定概括表中一部變更ニ付別紙寫ノ通り海軍大臣へ出

願仕候間宜敷御了承被成下度此段御届申上候也



株式會社 川崎造船所用



0863

起案罪紙

大正十年 九月七日起案

起案者 捺印

北條

十月 日

發付

捺印

發付後起案者捺印

起案罪紙(甲)

艦政本部長

副官

總務部長

第三課長

第一課長

大臣

副官

第四部長

第一課長

次官

參事官

第一課

第二課

經理局長

第一課

第二課

第三課

第四課

大正十年十月四日

海軍次官

信次官

造船艦艇裝設之圖等件

號番

官房

五〇三

軍令	水路	臨建	教育	造兵	技本	法務	經理	醫務	機關	艦政	人事	軍務	官房	局部
														受月日 發月日

經理局 10.10.1. 接受

0864

高

本艦 10.9. 受





船第八號

通牒

大正十二年八月十七日

遞信次官

海軍次官殿

大正十二年勅令第三百五十九號第一條第四號

依の物品認許ノ件

右ノ付一月六日付官房第八號ノ以テ照會ニ係ル新造戰艦紀伊尾張  
ニ使用セントスル艦裝品中「ハウアケイブル」以下十種ノモノハ本邦ニ於  
テ製作困難ナル特許品トシテ認容相成候得共「ハンドフック」  
以下十種ノモノハ新規認明品又ハ本邦ニ於テ製作困難ナル特  
許品トシテ認メ難ク候條  
右ノ了知相成度候

先奉ハ舊法規則ニ提ル

海軍

(小 終 封)

0866



皇印

本部

7  
總務部

船第六八〇號

通牒

大正十年十月八日

海軍次官殿

遞信次

船舶建造用物品輸入税免除ノ件

右ニ付十月四日付照會ニ係ル新造巡洋戰艦天城及赤城ニ使用セムトスル艤  
裝品タル錨及同附屬品各一式ハ認許相成候ニ付此段及通牒候

第三課  
第一課



小樽

電考部

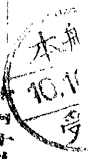


遞

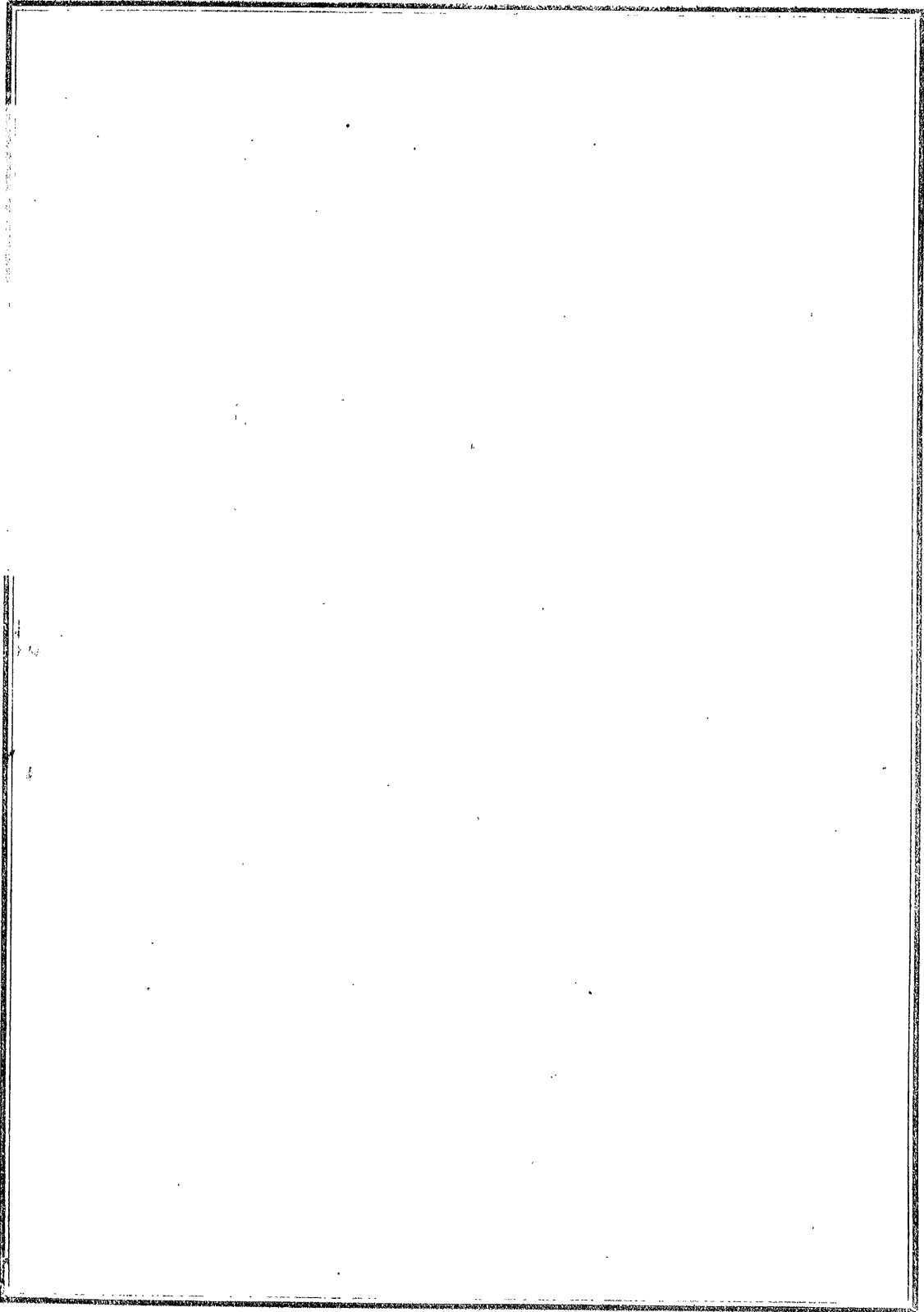
信

省

房受



0867



0868

**アジア歴史資料センター**

**Japan Center for Asian Historical Records**

<http://www.jacar.go.jp/>

大正十年十一月廿九日提案  
起案者  
十二月十二日發付  
案者  
十一月廿九日提案  
起案者  
十二月十二日發付  
案者

提案 艦政本部長

大臣 代  
次官  
參事官

第四部長  
第五部長  
第一部長  
第二部長  
第三部長

起  
正十年十二月七日  
海軍艦政本部

友房

本件以發布日即十一月三日  
トセヨク

巡洋戰艦高雄工事豫定概括表變更ノ件  
十一月廿一日附艦第三八號  
三菱長崎造船所長宛  
監督官經由  
以テ願出ノ巡洋戰艦

官房機密第一八三號

計畫

製圖

省副官

軍令  
水路  
臨建  
教育  
造兵  
技本  
艦政  
人事  
官房  
局部  
受日  
發月  
日

0870

0869

大正十年十一月廿九日起案

起案者 陸軍省

十二月十日

日發付

陸軍省

發付後起

紙中

(提案) 艦政本部長

大臣 代

次官

參事官

副官

第一部長

第二部長

第三部長

第四部長

第五部長

第六部長

總務部

第一課

第二課

第三課

第四課

第五課

軍務局長

經理局長

第一課長

第二課長

第三課長

第四課長

第五課長

第六課長

第七課長

第八課長

第九課長

軍務局長

第一課

第二課

第三課

第四課

第五課

第六課

第七課

第八課

第九課

經理局長

第一課

第二課

第三課

第四課

第五課

第六課

第七課

第八課

第九課

第一課長

第二課長

第三課長

第四課長

第五課長

第六課長

第七課長

第八課長

第九課長

先令部長

次長

第一班

第二班

第三班

第四班

第五班

第六班

第七班

第八班

第九班

三菱長崎造船所長宛

監督官經由

巡洋戰艦高雄工事豫定概括表変更ノ件

十一月廿一日附艦第三八號ノ以テ願出ノ巡洋戰艦

官房機密第一八三號

0870

0869

高雄ニ事豫定概指表変更ノ件認許相成候条  
右通知ス

(3)

0871

經理局長

軍務局長

三菱造船株式會社  
造船部  
日丁壹町浦ノ飽

艦政本部長



親展

臨時海軍大臣事務管理

內閣總理大臣子爵高橋是清殿

監督官殿經田

巡洋戰艦高雄工事豫定概括表之件

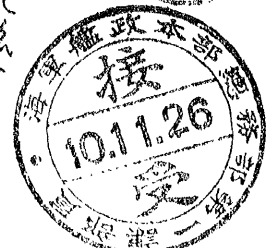
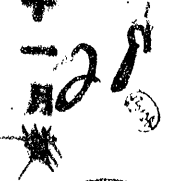
第一課長  
第二課長  
第三課長  
第四課長  
第五課長

第一課長

三菱造船株式會社社長崎造船所長代山口泉吉

(別紙壹葉添)

官房機多身一八五二號



0872







電 報 着 信 紙

軍務局

軍令部

局 着		局			發 報		受 信 人 居 所 名	
取扱者	受 信 時 分	付 信 時 分	日 號	第 一 局	第 二 課	報 官	川 下 三 郎	
	午後 五 時 分	午前 十 時 分	十一月 十八 日					
十一月十八日 佐鎮長官 土佐前十時半無事追水ス ハルハシ トルハシ スイス				指 定		番 着 信 號 數 紙 一 第 一 五 號 五		
				事 記		印 附 日 信 着 10.12.1		

0875

三三

大正十年十二月十八日午右〇時三十分長崎發  
二時十七分海軍省着

(長崎) 監督官

海軍大臣

第一課  
第二課  
第三課

土佐十八日午前十時半無事進水セリ

0876

10. 20  
1917



軍務局

大正十年十二月十八

日 午後 〇時三十分  
日 午前 二時十七分

發信者

(在長崎) 安住監督官

受信者 艦政本部長

電報譯

土佐十八日午前十時半無事進水セリ。

(了)

長崎局發

海軍省著



0877

紙達送報



●注意 受付月日の記入を省略したるものは、発行の當日着局に於て受領したるものとす

●注意 万一人に宛てたる電報の配達を受けたるときは其由を付通し直に之を配達したる電信局所に返戻せらるべく決して其受取人へ直送し又は手渡しせざること

局著		局		名氏所居人信受	
受 信 者	受 付 時	受 付 分	月	第 九 号	報
5	5	0	10	9	報
分	分	分	日	号	局
土佐十八日午前十時三十分無事送水			トサハヒゴ ンスイ ンセ		
三葉文			定指 ら ら ら		
			名氏所居人信發		
			事記		
			印附日局著		
			10.12.18		

印刷局製造

●したれは越申てに無料無償又は額口ばらぬ際の有様不取

0878



軍務局



大正十年 十二月 十五日 午前 十時 五十九分 長崎 砲兵局 發

午後 一時 分 海軍省 著

發信者 (在長崎) 安住 監督官

受信者 艦政本部 總務部長

電報譯

高 起工 及 ス ヲ キニ 付 豫ノ 御 届 ス。

起工 及 ス ヲ キニ 付 豫ノ 御 届 ス。



10.12.15

海軍

(小 封 筒)

(K)

0880

軍務局

寫

大正十年十二月十九日

午後三時五十分 長崎局發  
午後四時五十分 海軍省著

發信者

(在長崎) 安住監督官

受信者 艦政本部長

第一課

電報譯

十二月十九日午前十時起工セリ

(了)

本艦  
10.12.20  
受接

小島 謙

0881

10.12.20

アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

http://www.jacar.go.jp/



19  
70  
A  
3

軍艦加賀命名式滞リナク終了

海軍大臣

大正十年十一月十七日午前

八時三十五分  
九時四十五分  
海軍省着  
於神戸 黒鎮守府司令長官

第一課  
第二課



0882



大正十年十一月十七日午前

八時四十分  
九時三十分  
神戶  
東京  
着

川崎造船所



海軍大臣



戦艦加賀今朝八時三十分無事進水致

0883

軍務局



加賀無事進水セリ  
報告ス。

電報譯

受信者 艦政本部長

發信者

(在神戶) 田中監督官

大正十年十一月十七日

午後十一時十分

神戶局發  
海軍省著

美濃中備十三行郵便



(了)

海軍

(附録小)

0884